

地

獄

の大王は閻魔様だけじゃない!?
の世界はひとつじゃない!?



絵解き地獄絵図

「活気あふれる地獄の世界」

全5回



ヤマトン健康
ポイントIP

神奈川県立歴史博物館所蔵

日時 **2月1日・8日・22日、3月1日・15日**

いずれも**土曜日 14時～16時** 対象 **どなたでも(大和市内優先)**

会場 本会場:桜丘学習センター 1階 103講習室
サテライト会場:生涯学習センター 609小会議室 定員 本会場:25名(先着)
サテライト会場:12名(先着)

費用 2,000円(学生証提示で1,000円)
※ 全5回分の金額です。初回にお支払いいただきます。
※ 分割でのお支払いや、返金はできません。

申込 12月14日(土)10時から電話・窓口・HPにて
※ 12月21日(土)10時からは空きがある場合のみ
市外の方も申込みいただけます

問合せ 桜丘学習センター ☎ 046-269-0411



本会場:申込フォーム
(グーグルフォーム使用)



◆アクセス◆
小田急江ノ島線
桜ヶ丘駅西口徒歩3分



絵解き地獄絵図 ～活気あふれる地獄の世界～

2月1日(土)
第1回

地獄の様相と仏教美術の基礎知識

「人は死後どうなるのか」この命題に対する答えの一つに六道輪廻（天道・人道・阿修羅道・畜生道・餓鬼道・地獄道のなかで生まれ変わるという考え方）があり、このうち地獄道は、現世での行いの報いを受ける場所でありました。仏教美術を鑑賞するための基礎知識を確認しながら、活気あふれる地獄の様相を覗いてみます。

2月8日(土)
第2回

密教におけるエンマさまの役割

密教のほとけに焰摩天えんまてんがいます。もともと焰摩天は、古いインドの神話のなかで死者の王であり、ヒンドゥー教では死の神、死者の審判者とされ、仏教に取り入れられたのちもその性格を引き継ぎました。平安時代に流行した密教において焰摩天はどのような姿形で表されたのか、どのような効果が期待されたのかを紹介します。

2月22日(土)
第3回

浄土と地獄

平安時代後期・10世紀後半、極楽浄土に対する信仰が高まりをみせます。この時期に撰述された浄土へ往生するための教科書には、どうしたら往生できるのか、浄土はどのような所なのか、そして地獄がいかにかの恐ろしい場所か、が説かれました。当時の人々が希求した浄土、そして恐れた地獄の造形を見てゆきます。

3月1日(土)
第4回

説話に描かれる地獄と絵巻の鑑賞基礎知識

仏教説話を描いた絵巻にはしばしば地獄や閻魔王が登場します。その描写は伝統的なモチーフを用いる一方で、恐ろしいとは一線を画す存在で表されることも。絵巻を鑑賞するための基礎知識とともに地獄を描く作品を紹介します。

3月15日(土)
第5回

近世の地獄

当時の死生観の側面を垣間見るような作品を紹介します。残された者たちの深い悲しみだけではない在りし日の姿に思いを馳せる人々の信仰の形、あるいは近世の人々の地獄のイメージを浮世絵や近世絵画から読み解きます。



講師 樋口美咲氏

神奈川県立歴史博物館
学芸員（中世絵画）

仏教絵画、とくに密教絵画を専門に研究をしている。
"エンマ"に関しては「東密系焰摩天曼荼羅の成立に関する一試論」、
「醍醐寺本焰摩天画像に関する一考察」などの論考がある

サテライト(中継)受講へのお申込み

サテライト受講とは、メイン会場で行っている講義の様子を、別会場のスクリーンに映して、中継をご覧いただく方法です。現地に行かなくても受講できます。(質疑応答は可能です)

【会場・申込方法】

大和市生涯学習センター会場(609小会議室)

[申込] 電話(046-261-0491)・窓口・HPにて

[対象] 市内在住・在勤・在学の方

[費用] 2,000円(全5回分/学生証提示で1,000円)

[受付] 12/14(土)10時から※市外の方は、定員に空きがある場合のみ12/21(土)10時から



サテライト受講もヤマトン健康ポイントの対象事業です。(1ポイント)



サテライト会場
申込フォーム
(ゲーグルフォーム使用)

【受講にあたっての注意事項】

- ・居住地域に関わらず、どちらの会場でもお申込みいただけます。受講を希望する会場へお申込みください。
- ・お一人での複数会場へのお申込みは、他の方の受講機会の妨げとなりますのでご注意ください。
- ・当日は、お申込みいただいた会場をお間違えになりませんよう、ご注意ください。